

「海峡レトロ海図展」を開催 — 9月12日は水路記念日 —

9月12日は、明治4年(1871年)兵部省海軍部水路局が誕生し、日本で海図の作成が開始された日で、これを水路記念日としています。第七管区海上保安本部では、水路記念日の関連行事として旧門司税関で「海峡レトロ海図展」を9月12日(金)～23日(火)まで開催しており、好評を博しています。

展示内容 九州北部の最新の海図
" 歴史的な海図と伊能図(写)
明治～平成までの関門海峡の海図
いろいろな「海の図」

歴史的な海図と伊能図

伊能図(原寸・縮小模写図)

明治の初めに海図作成に活用するため伊能図原本から原寸模写された「豊後(別府、大分)」「豊後日向(津久見、佐伯)」及び縮小模写された九州北部の「対馬」「五島」「壱岐」「筑後 筑前 肥前(福岡)」「筑前 豊前 長門(関門)」など軍機海図

昭和5年から14年に刊行された佐世保軍港付近の軍機海図

九州北部の変遷を示す海図

明治以降の時代とともに移りゆく様子を示す海図

いろいろな「海の図」

海の図にはいろいろなものがあります。船舶が航海を目的に使用する図、漁業や釣りの参考になる図、ヨットやモーターボートのための図、潮流の向きや強さが描かれた図、などなど。「海峡のレトロ海図展」ではこれらを紹介しています。

水路記念日と海洋情報部

明治4年に設置された兵部省海軍部水路局はその後、海軍省水路局、海軍水路部、そして戦後、海上保安庁水路部と変遷し、平成14年4月に現在の海上保安庁海洋情報部となりました。海洋情報部は、創設以来、海に関する最新の情報を海図・電子海図などで提供し、航海の安全を支えてきました。さらに、海洋の環境問題や地震などの災害への対応、大陸棚画定への対応、マリンレジャーの普及に応える情報提供など、海洋に関する様々な調査と情報の提供を行っています。

